

平成19年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

広島市立中広中学校

1 調査の目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育の成果と課題を把握し、その改善を図る。

2 調査の実施日 平成19年4月24日（火）

3 調査実施学校数（公立学校）等

区分	調査実施校数（校）			調査実施者数（人）			
	国	県	市	国	県	市	学校
小学校第6学年	21,889	569	141	1,125,585	25,916	10,749	—
中学校第3学年	10,050	253	63	1,023,516	22,825	8,659	170

4 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語，算数・数学）

主として知識に関する問題〔A問題〕

- ◇ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◇ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として活用に関する問題〔B問題〕

- ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇ 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

- ◇ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

- ◇ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況及び体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

5 各教科の平均正答率

【小学校】

国語								算数							
A問題				B問題				A問題				B問題			
国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校
81.7	83.3	82.8	—	62.0	65.0	65.0	—	82.1	84.7	84.2	—	63.6	65.0	65.7	—

【中学校】

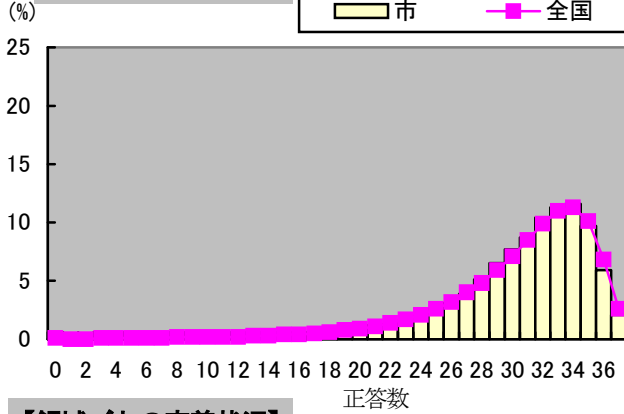
国語								数学							
A問題				B問題				A問題				B問題			
国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校
81.6	82.4	81.9	77.3	72.0	72.0	72.0	68.0	71.9	73.3	73.6	64.4	60.6	60.6	60.6	52.4

6 各教科の調査結果の概要

【中学校国語】

国語 A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話すこと・聞くこと	90.1	90.4	89.3
書くこと	73.4	73.6	64.7
読むこと	80.6	80.8	76.8
言語事項	80.3	80.4	74.9

【問題形式による定着状況】

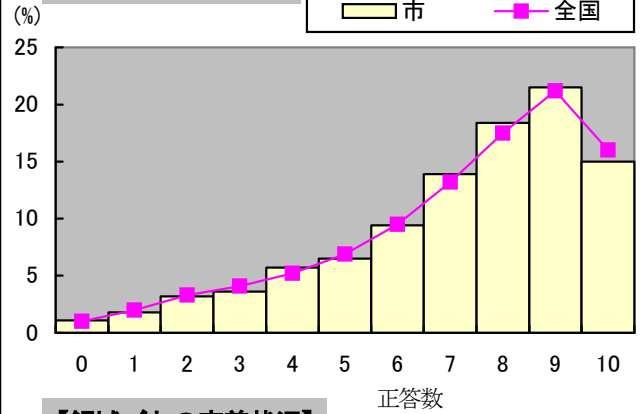
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	84.2	84.8	81.8
短答式	79.3	78.9	72.4
記述式	72.4	71.2	63.7

定着状況

○言語事項と聞くことについては多くの場面で反復練習をさせてきたが、力として定着していない。
○書く問題に対して無解答率が以前より下がってきている。

国語 B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話すこと・聞くこと	81.3	81.3	83.4
書くこと	64.4	64.4	59.6
読むこと	70.6	70.8	66.7
言語事項	68.5	68.7	69.8

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	79.3	79.3	79.1
短答式	63.5	64.4	54.7
記述式	64.4	64.4	59.6

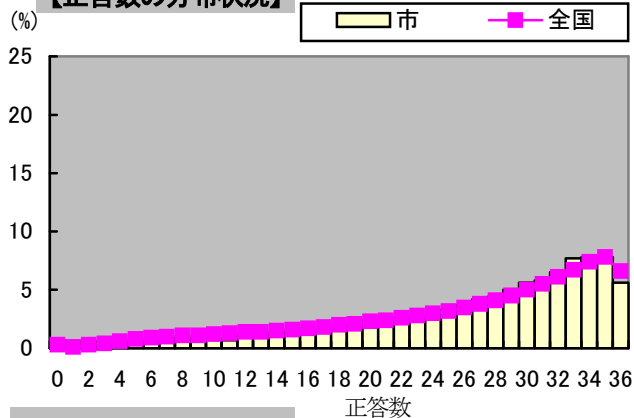
課題

○書く問題への苦手意識の克服を授業への発言から指導したい。
○読む力の伸びを支える「聞く力」が随分定着してきているので、授業中の発言による説明や意見、考えの表現の仕方を工夫したい。

【中学校数学】

数学A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	74.4	76.6	68.8
図形	75.5	77.2	68.5
数量関係	65.9	66.9	56.2

【問題形式による定着状況】

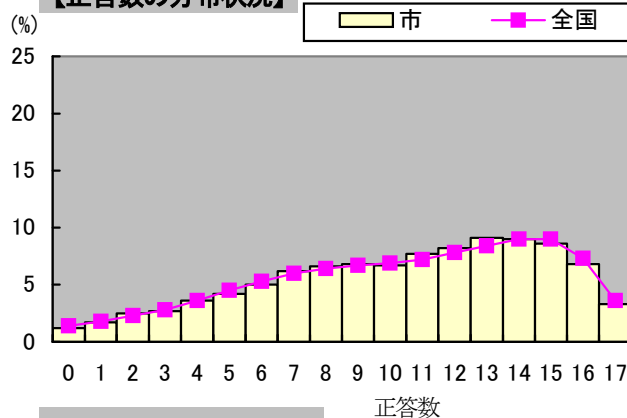
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	70.9	71.6	63.1
短答式	73.0	75.6	65.9
記述式	—	—	

定着状況

- 多くの領域で、全国平均正答率より下回っており、基本的な学習内容が定着していない。
- 数学Aで特に正答率が悪いのは空間図形の問題である。復習をする必要がある。

数学B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	48.2	48.4	38.5
図形	53.1	52.0	42.6
数量関係	67.9	68.0	61.6

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	63.9	64.7	61.9
短答式	74.2	74.1	66.8
記述式	45.1	44.8	33.6

課題

- 記述式の正答率が極端に悪く、数学に対する苦手意識が強い。基本的な学習内容の定着の為に繰り返し学習と、数学のおもしろさを実感できる授業づくりが課題である。